

資産運用レポート：サークル・オブ・コンピタンス

1 はじめに

株式投資において「どの銘柄を買えばいいのか」は最大の関心事であり、まさに永遠のテーマといえます。そこで、皆さんに質問をします。

銘柄選択の際、何を一番重視していますか？

私の答えは次のとおりです。

自分の理解できるビジネスを行っていること（サークル・オブ・コンピタンス）

サークル・オブ・コンピタンス（Circle of Competence）とは、自分がよく理解しており、知識の範囲内に収まるものに重点を置くべきという考え方です。

かのウォーレン・バフェットも、自分の熟知している事業体への長期集中投資で資産を築きました。

しかしながら、情報のあふれている今日では、様々な誘惑が投資家の心を揺さぶります。

マネー雑誌やネット上の株式掲示板、個人投資家のブログなどに「いかにも儲かりそうな話」が満載されています。

株で儲けている投資仲間から「この銘柄が面白そうだ。自分も買っている」と聞かされる場合もあるでしょう。

そんな状況に置かれれば、居ても立ってもいられなくなるのが生身の人間です。

「よく知らない業界だけど、この銘柄は大化けしそうだ」とつい乗ってしまい、火傷を負った経験をされた方もいらっしゃるはずです。

恥ずかしながら、私も何度かあります。

今回の資産運用レポートでは「自分の理解できる企業にのみ投資することがいかに大切か」について取り上げます。